

7 富士山世界遺産登録決定！ 静岡県からのお知らせ

本年6月にカンボジアの首都プノンペンで開催された「第37回ユネスコ(国連教育科学文化機関)世界遺産委員会」において、「富士山」の審議が行われ、6月22日に三保松原も含めて世界文化遺産に登録されることが決定し、6月26日に世界遺産一覧表に記載されました。



世界遺産委員会の様子(カンボジア・プノンペン)

世界遺産委員会における審議では、ユネスコの諮問機関であるイコモスが除外を勧告していた三保松原について、ドイツをはじめとする多くの委員国から、三保松原の価値を認める意見が表明され、三保松原も含めた全ての構成資産の登録が実現しました。

地球の造山活動の傑作である富士山が、自然遺産としてではなく、世界文化遺産として登録されたことは、日本独自の文化観と自然観が世界に認められたことであり、大変意義深いものです。

ふじさんネットワークの会員の皆様をはじめとする多くの方々の長年にわたる地道な活動により、富士山の世界遺産登録が実現しました。

世界遺産登録はゴールではなく、スタートです。世界遺産への登録は、富士山を「人類共通の財産」として、誇りと責任を持って後世に継承することを世界に約束するものです。静岡県といたしましても、世界遺産の名に恥じぬよう、富士山の保存管理に万全を期してまいりますので、引き続き、御支援と御協力をお願いします。



世界遺産登録で歓喜にわく川勝静岡県知事(右)と横内山梨県知事(カンボジア・プノンペン)